

令和元年度 事務事業総点検シート(1)
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類			詳細点検
事務事業名	さかい高齢者運転免許自主返納サポート事業			シート番号	A 一般事務事業 11-088
担当部署名	健康福祉	局	長寿社会	部	長寿支援 課 評価責任者(課長名) 羽野

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け
			施策	2	地域全体で支える福祉の仕組みづくり	無
	2	事業開始年度	平成 29 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	さかい高齢者運転免許自主返納サポート事業実施要綱			
	4	関連計画	堺市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(平成30(2018)~32(2020)年度)			
5	事業実施の経緯	国においては、平成29年3月12日に施行した改正道路交通法で、一定の違反行為をした75歳以上の高齢運転者に臨時認知機能検査を義務付けるなど、リスクの高い高齢運転者の交通事故対策を推進していることや高齢運転者による交通事故が社会問題となっていることなどの社会的な背景を踏まえ、平成29年度から事業を開始した。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input checked="" type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()				
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか。)	次の各号のすべてに該当する方 (1)堺市民の方 (2)平成29年4月1日以降に運転免許を自主返納された方 ※有効期限切れによる失効は対象外 (3)自主返納時において75歳以上の方				
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか。)	高齢者の運転免許の自主返納を促進することで、交通事故を未然に防ぎ、家族の安心とともに、市民全体の安全・安心に資することを目的として本事業を実施するものである。				
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	平成29年4月1日以降に運転免許を自主返納した75歳以上の堺市民からの申請に基づき、堺市独自の特典としてタクシー利用券6,000円分を進呈する。				
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()					

Ⅲ. 投入量

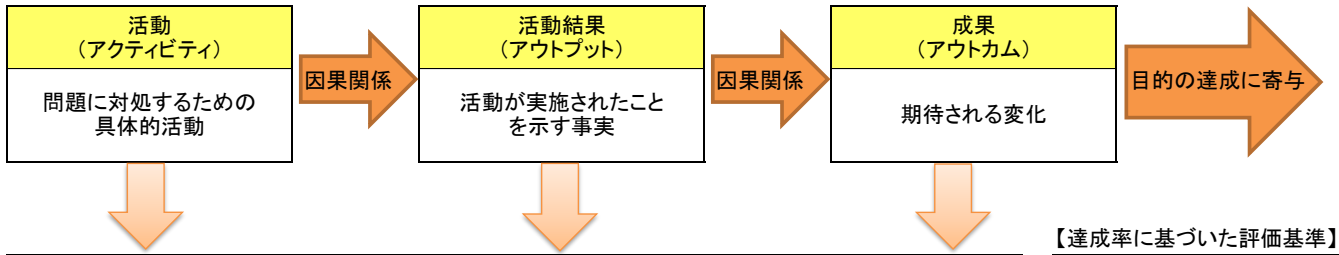
項目	単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
11 事業費 (a)	千円	0	10,016	11,481	10,313	
主な事業費内訳	報償費	千円		9,000	10,500	9,300
	通信運搬費	千円		670	815	793
	印刷製本費	千円		329	151	190
	消耗品費	千円		17	15	30
	国・府支出金	千円				
	財源内訳	千円				
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
市債	千円					
その他()	千円					
一般財源	千円		10,016	11,481	10,313	
12 人件費 (b)	千円	0	3,620	3,620	3,580	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	0	13,636	15,101	13,893	

令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	さかい高齢者運転免許自主返納サポート事業	シート番号	11-088
-------	----------------------	-------	--------

Ⅳ. 評価(測定・分析)

ロジックモデルの考え方



[14]平成30年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15]または[16]に定量的な指標、または定性的な目標を記載

【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

事業の活動内容や成果

		平成30年度実績					
活動実績と成果	14	<p>各区役所だけでなく、大阪府警にも当事業のチラシの配架を依頼し、事業周知に努めた結果、平成30年度は1,667件のタクシー券の支給決定に至り、高齢者の自主返納のきっかけとして寄与した。また、タクシーチケット支給者へアンケートを実施し、①この事業を何で知ったか、②免許を返納しようとしたきっかけは何か、③当事業は免許返納の後押しになったか、④特典についてタクシー券、もしくはその他の特典がよかったのか、⑤ご意見、といった5項目でアンケートを実施した。平成31年3月末で、1,666件のアンケートの回答があり、本事業の効果、意見等の集積を行っている。</p>					
	15	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	タクシー券支給決定件数	目標値	件		1,200	1,544	1,550
		実績値			1,560	1,667	
		達成率			130%	108%	
		評価			大変良い	良い	
	算出方法・設定根拠など		昨年度の件数をもとに目標値を算定。				
	16	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	本事業利用者へのアンケートにおいて、「免許返納の後押しになった」及び「少しはなった」と答えた人の割合	目標値	%		80	80	80
		実績値			65	82	
達成率				81%	103%		
評価				普通	良い		
算出方法・設定根拠など		アンケートによる集計					

業績の分析

17	<p style="text-align: center;">目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)</p> <p>平成30年度は、目標の申請者数を大幅に上回る結果となった。また、アンケートにおいても約8割の方が免許返納の後押しになったと答えていることから、本事業が運転免許を自主返納するきっかけの一つとなっている。</p>
----	--

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。